

社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	用地買収を進め、現道拡幅等を行った結果、自動車の交通の流れもスムーズになり、歩行者の安全も確保された。整備中の路線も残るため、引き続き事業を継続していく。					
II 定量的指標の達成状況	評価する指標			当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-4	街路整備の進捗率（用地取得面積/事業用地の面積）		64.6%	75.0%	74.5%
	目標値と実績値 に差が出た要因	一部路線について地権者の同意が得られず、未完成となってしまったため。				
III 特記事項（今後の方針）						
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。						

上記指標に関連する事業

事業名	A-1-2-1	駅前六間通り線街路整備事業			
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：街路整備0.3km		事業実施期間：平成26年～平成28年	事業費：	799 百万円
事業名	A-1-2-2	南浦和前川線街路整備事業			
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：街路整備0.3km		事業実施期間：平成25年～平成28年	事業費：	440 百万円
事業名	A-1-2-3	里上青木線街路整備事業（橋りょう部）			
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：橋りょう整備		事業実施期間：平成24年～平成25年	事業費：	318 百万円
事業名	A-1-2-16	仁志町領家町線街路整備事業			
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：街路整備0.3km		事業実施期間：平成26年～平成28年	事業費：	201 百万円
事業名	A-3-1-2	川口地区都市再生整備計画事業			
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：街路整備0.7km		事業実施期間：平成24年～平成25年	事業費：	92 百万円
事業名	A-3-1-3	上青木地区都市再生整備計画事業			
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：街路整備0.8km		事業実施期間：平成24年～平成25年	事業費：	280 百万円
事業名	A-4-2-3	川口駅周辺地区住宅市街地総合整備事業			
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：街路整備1.4km		事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費：	1,733 百万円
事業名	A-4-2-4	川口駅・川口元郷駅周辺特定地区都市再生総合整備事業			
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：街路整備0.6km		事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費：	923 百万円

社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	幹線道路や生活道路の整備の結果、水道・排水設備等のライフラインが整備された良好な宅地の割合が増加し、対象地区内の地区人口も順調に推移している。					
	使用収益開始面積（H24当初）約80ha → 使用収益開始面積（H28末）約100ha ※対象6地区の合計 地区内人口（H24当初）約31,900人 → 地区内人口（H28末）約32,900人 ※対象6地区の合計					
II 定量的指標の達成状況	評価する指標			当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-5	都市基盤が整備された良好な市街地の割合 = Σ (対象地区面積 × 使用収益開始率) / Σ (対象地区面積)		21.0%	27.0%	26.7%
	目標値と実績値 に差が出た要因	区画整理事業の進捗により一定水準の住環境と交通網が整備されているが、一部の対象地区において移転補償交渉等が難航したため、目標値を達成することができなかった。				
III 特記事項（今後の方針）						
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。						

上記指標に関連する事業

事業名	A-1-2-4 石神西立野地区（（都）石神長蔵線 外）	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費： 3,007 百万円
事業内容・事業期間・事業費	事業内容： 区画整理 A=99.1ha	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費： 3,007 百万円
事業名	A-1-2-5 石神西立野地区（（都）戸塚安行線 外）	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費： 98 百万円
事業内容・事業期間・事業費	事業内容： 区画整理 A=99.1ha	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費： 98 百万円
事業名	A-1-2-6 芝東第3地区（（都）南浦和前川線 外）	事業実施期間：平成24年～平成27年	事業費： 55 百万円
事業内容・事業期間・事業費	事業内容： 区画整理 A=63.2ha	事業実施期間：平成24年～平成27年	事業費： 55 百万円
事業名	A-1-2-7 芝東第3地区（（都）南浦和前川線）	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費： 51 百万円
事業内容・事業期間・事業費	事業内容： 区画整理 A=63.2ha	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費： 51 百万円
事業名	A-1-2-8 芝東第4地区（（都）浦和草加線 外）	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費： 60 百万円
事業内容・事業期間・事業費	事業内容： 区画整理 A=92.6ha	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費： 60 百万円
事業名	A-1-2-9 安行藤八地区（（都）浦和東京線 外）	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費： 998 百万円
事業内容・事業期間・事業費	事業内容： 区画整理 A=68.1ha	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費： 998 百万円
事業名	A-1-2-10 安行藤八地区（（都）戸塚安行線）	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費： 105 百万円
事業内容・事業期間・事業費	事業内容： 区画整理 A=68.1ha	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費： 105 百万円
事業名	A-1-2-11 新郷東部第2地区（（都）末広新郷線 外）	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費： 387 百万円
事業内容・事業期間・事業費	事業内容： 区画整理 A=165.0ha	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費： 387 百万円
事業名	A-1-2-12 新郷東部第2地区（（都）新郷草加線）	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費： 59 百万円
事業内容・事業期間・事業費	事業内容： 区画整理 A=165.0ha	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費： 59 百万円

事業名	A-1-2-13 里地区（（都）蕨流山線 外）		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：区画整理 A=80.7ha	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費：1,108 百万円
事業名	A-1-2-14 里地区（（都）大宮東京線）		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：区画整理 A=80.7ha	事業実施期間：平成25年～平成28年	事業費：80 百万円

社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	商業・業務施設等の整備や、広場内への高低様々な花樹や遊具等の配置により、地域の憩いの場として賑わいを創出している。				
II 定量的指標の達成状況	評価する指標		当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-6	川口金山町地区における公園・緑地・広場の状況等をもとにしたオープンスペースの増加面積。	2,002㎡ 3箇所	3,802㎡ 4箇所	3,802㎡ 4箇所
	目標値と実績値 に差が出た要因				
III 特記事項（今後の方針）					
本事業は平成25年度に完了しており、建物の不燃化・共同化により、誰もが利用できる災害時に有効な防災広場や、緊急車両が通行できる敷地内通路等のほか、避難道路である都市計画道路善光寺荒川線も拡幅整備され、地域における防災性の向上が図られた。					

上記指標に関連する事業

事業名	A-1-2-15 3.3.39善光寺荒川線街路事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：都計道拡幅L=約91m	事業実施期間：平成24年～平成25年	事業費：104百万円
事業名	A-3-5-1 川口金山町12番地区第一種市街地再開発事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：都市型住宅,産業育成,子育て支援等	事業実施期間：平成24年～平成25年	事業費：1,836百万円

社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道（污水管）の整備を実施したことにより、生活環境の改善と公共用水域の水質保全に寄与した。			
II 定量的指標の達成状況	評価する指標	当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値(H28 年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-14 下水道処理人口普及率（全市） 下水道を利用できる人口（人）／総人口	84.6%	86.7%	86.5%
	目標値と実績値 に差が出た要因	供用開始区域内人口の増加量が想定していたよりも小さく、目標を達成出来なかった。		
III 特記事項（今後の方針）				
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。				

上記指標に関連する事業

事業名	A-2-5-4	南部第3処理分区ほか污水管渠整備（普及促進）	
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：L=5.2km	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費：828百万円
事業名	A-2-5-5	荒川左岸南部第4-5処理分区污水幹線整備	
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：L=0.5km	事業実施期間：平成24年～平成26年	事業費：126百万円
事業名	A-2-5-7	川口第3処理分区ほか污水管渠整備（普及促進）	
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：L=11.5km	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費：2,019百万円

社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	区画整理事業が進捗し、地区内の幹線道路や生活道路の整備の結果、良好な宅地の増加や、土地使用収益開始面積の増加につながり、民間開発による住宅供給等が進められた。また、公園等整備による地区向上も間接的要因として、地区内人口が順調に推移している。 使用収益開始面積（H24当初）約55.5ha →使用収益（H28末）約65.4ha ※対象4地区の合計			
II 定量的指標の達成状況	評価する指標	当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-15 戸塚南部地区内建築着工件数	1,485件	2,300件	2,417件
	目標値と実績値に差が出た要因	区画整理事業の進捗により、一定水準の住環境と交通網が整備され、民間の宅地開発による農地転用等宅地以外の土地利用が進んだ結果、建築着工件数の増加に繋がった。		
III 特記事項（今後の方針）				
戸塚南部地区都市再生整備計画は、平成27年度をもって計画の完了となった。平成28年度以降も、川口市社会資本総合整備計画により、効率化並びに配分等を考慮しながら事業を継続していく。				

上記指標に関連する事業

事業名	A-3-1-1 戸塚南部地区都市再生整備計画事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：区画整理 A=253.6ha 公園 A=8.9ha	事業実施期間：平成24年～平成27年	事業費： 7,429 百万円

社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	区画整理事業が進捗し、幹線道路や生活道路の整備の結果、駅までのアクセス条件、交通安全性、歩行者快適性が向上し、また、民間開発等の住宅供給により区内人口の増加につながった結果、鉄道利用者が順調に推移している。 区内人口（H24当初）約16,900人→ 区内人口（H28末）約18,700人 ※対象4地区の合計					
II 定量的指標の達成状況	評価する指標			当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-16 戸塚安行駅利用者数			5,800人	6,300人	6,893人
	目標値と実績値 に差が出た要因	区画整理事業の進捗により、一定水準の住環境と交通網が整備され、区内人口の増加につながった結果、鉄道利用者の増となった。				
III 特記事項（今後の方針）						
戸塚南部地区都市再生整備計画は、平成27年度をもって計画の完了となった。平成28年度以降も、川口市社会資本総合整備計画により、効率化並びに配分等を考慮しながら事業を継続していく。						

上記指標に関連する事業

事業名	A-3-1-1 戸塚南部地区都市再生整備計画事業			
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：区画整理 A=253.6ha 公園 A=8.9ha	事業実施期間：平成24年～平成27年	事業費： 7,429 百万円	

社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	赤山歴史自然公園整備に伴う用地取得については、取得予定用地の約96%（H27年度末）の確保が完了した。 赤山歴史自然公園整備事業全体の進捗率は約53%（H27年度末）、完成（100%）は平成33年度の予定。 指標上の取得目標面積（目標値32.8ha-従前値29.3ha=3.5ha）に対して、H27年度末の基幹事業費執行率約74.56%を乗じた面積（約2.6ha）を実績値として計上した。 戸塚南部地区が位置する神根・安行地区の整備済み公園面積29.4ha+赤山歴史自然公園実績値2.6ha=32.0ha			
II 定量的指標の達成状況	評価する指標	当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-17 公園緑地面積の増加	29.3ha	32.8ha	32.0ha
	目標値と実績値に差が出た要因	赤山歴史自然公園の整備に必要な用地取得が進み、指標の向上に寄与したものの、一部地権者交渉等の遅れにより目標には到達しなかった。		
III 特記事項（今後の方針）				
戸塚南部地区都市再生整備計画事業としての赤山歴史自然公園整備事業は平成27年度で完了。平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。				

上記指標に関連する事業

事業名	A-3-1-1 戸塚南部地区都市再生整備計画事業			
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：区画整理 A=253.6ha 公園 A=8.9ha	事業実施期間：平成24年～平成27年	事業費：	7,429 百万円

社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	地区内道路の整備により狭隘道路の解消が進み、緊急車両の通行における安全性・利便性が向上し、防災面からの改善が進んでいる。 整備済み道路整備延長（H24当初）約23,000m → 整備済み道路整備延長（H28末）約33,000m ※対象4地区の合計					
II 定量的指標の達成状況	評価する指標			当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-18 芝東第3・芝東第4・新郷東部第2・里地区内における救急車等の緊急車両の到達時間を短縮させる地区内道路の整備率 $= \frac{\sum (\text{対象地区内整備済み道路延長})}{\sum (\text{対象地区内計画道路延長})}$			22.9%	25.7%	31.1%
	目標値と実績値 に差が出た要因	区画整理事業の進捗により一定水準の住環境と交通網が整備されており、対象地区内の道路整備が当初の予定よりも進んだ結果、目標値を達成できた。				
III 特記事項（今後の方針）						
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。						

上記指標に関連する事業

事業名	A-3-7-4 里地区土地区画整理事業			
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：都市再生区画 A=80.7ha	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費：	1,598 百万円
事業名	C-3-7-4-2 里地区排水施設整備事業			
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：A=80.7ha	事業実施期間：平成25年～平成28年	事業費：	80 百万円

社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	狭あい道路が解消され、道路の安全性の確保が図られた。 5年間で101件（うち36件は市の補助対象外）の道路後退用地の寄付があり、その土地が道路として整備され、良好な住宅環境の整備に貢献した。					
II 定量的指標の達成状況	評価する指標			当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-23 幅員4m未満の狭あい道路を拡幅整備する割合 (狭あい道路拡幅整備率) = (狭あい道路の拡幅整備延長) / (H28時点で目標とする狭あい道路の拡幅整備延長 1,490m) (%)			0.0%	100.0%	109.0%
	目標値と実績値 に差が出た要因	事業が円滑に進み、当初予定よりも工事が進んだため。				
III 特記事項（今後の方針）						
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。						

上記指標に関連する事業

事業名	A-4-2-2 狭あい道路整備等促進事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：狭あい道路の拡幅等・市内全域	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費：132百万円

社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	幹線道路や生活道路の整備、また、駅へのアクセス道路の整備により良好な市街地形成が進み宅地化され、地区人口も順調に推移している。 地区内人口（H24当初）約11,000人 → 地区内人口（H28末）約12,000人 ※対象2地区の合計					
II 定量的指標の達成状況	評価する指標			当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-24 住宅の新規供給戸数（計画期間内の住宅整備戸数）（戸）			25戸	240戸	109戸
	目標値と実績値 に差が出た要因	区画整理事業の進捗により一定水準の住環境と交通網が整備されているが、街路整備の用地確保が難航したため目標値を達成することができなかった。				
III 特記事項（今後の方針）						
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。						

上記指標に関連する事業

事業名	A-4-2-5 川口戸塚駅周辺土地区画整理住宅市街地基盤整備事業			
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：土地区画整理事業	事業実施期間：平成24年～平成28年	事業費：	1,289 百万円

社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川 口 市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	当事業において、東公団循環道路全長1,290mのうち、外周道路970m、幅員8mの道路整備等が完了したため、当初時より消防活動困難区域が解消された。			
II 定量的指標の達成状況	評価する指標	当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-25 桜町3, 4丁目における消防活動困難区域の解消率 (桜町3, 4丁目の地区面積-桜町3, 4丁目の消防活動困難区域地域面積) / (桜町3, 4丁目の地区面積) (%)	91.0%	95.0%	98.8%
	目標値と実績値 に差が出た要因	当初想定していた目標値より整備が進んだため、目標値より実績値が上回った。		
III 特記事項（今後の方針）				
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。				

上記指標に関連する事業

事業名	A-4-2-7	桜町地区住宅市街地総合整備事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容： 道路改築	事業実施期間： 平成24年～平成28年	事業費：	1,171 百万円

社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川 口 市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	理数科を設置する新市立高校の開設準備として、隣接するSKIPシティ内の川口市立科学館との連携を強化した。 具体的には、川口市立科学館、川口市立川口総合高校及び川口市立川口高校と連携してサイエンスショーを行った。平成24年度は1回しか行っていなかったサイエンスショーを2回に増やし、産学官の連携を充実させることで、相乗効果による相互の活性化を促進した。 新市立高校は現在建設中であり、まだ竣工していないが、指標の目標値は達成できた。平成29年度に竣工、そして平成30年度に開校予定であり、今後も引き続き連携を強化していく予定である。			
II 定量的指標の達成状況	評価する指標	当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-32 市内の市立高校とSKIPシティの連携による科学館等の利用時間（時間／年）	5時間	10時間	10時間
	目標値と実績値 に差が出た要因			
III 特記事項（今後の方針）				
当該事業は、川口市社会資本整備計画にて平成29年度も継続して行う。 現在の工事進捗及び今後の工事予定としては、平成29年3月現在、5階躯体工事と並行して内装工事を行っており、今後は、5階躯体工事及び内装工事の仕上げに入る。また、渡り廊下及び幕屋根の設置工事、外構工事を行い、平成29年12月に校舎棟が完成予定である。				

上記指標に関連する事業

事業名	A-3-1-4 上青木・里地区都市再生整備計画事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：街路整備0.6km、新市立高校建設	事業実施期間：平成26年～平成28年	事業費： 2,834 百万円

社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	街路整備もほぼ完成しつつあり、開通後はスムーズな交通が見込まれる。			
II 定量的指標の達成状況	評価する指標	当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-33 SKIPシティから埼玉高速鉄道線鳩ヶ谷駅までの移動に係る所要時間(分)	15分	10分	15分
	目標値と実績値 に差が出た要因	用地の確保に時間がかかり、工事に遅れが生じたため		
III 特記事項(今後の方針)				
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。				

上記指標に関連する事業

事業名	A-3-1-4 上青木・里地区都市再生整備計画事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：街路整備0.6km、新市立高校建設	事業実施期間：平成26年～平成28年	事業費： 2,834 百万円

社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	長寿命化計画に基づき、予防保全的な修繕や改善を行うことで、ライフサイクルコストの縮減と事業の平準化を図り、ストックの有効活用と円滑な更新を実現した。			
II 定量的指標の達成状況	評価する指標	当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-39 市営住宅ストック総合改善工事の実施率 (ストック総合改善実施率) = (改善した工事数) / (昭和40年以降建設の住宅で、平成28年度までに修繕周期を迎える工事数) (%)	0.0%	32.8%	37.9%
	目標値と実績値 に差が出た要因	改善目標とした工事のみならず、計画期間内に実施可能な改善工事に取り組んだことにより、目標値を上回った。		
III 特記事項 (今後の方針)				
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。				

上記指標に関連する事業

事業名	A-4-1-1 地域住宅計画に基づく事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容： 公営住宅等ストック総合改善事業等	事業実施期間： 平成24年～平成28年	事業費： 1,528 百万円

社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川 口 市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	防災無線デジタル機器子局の整備を行ったことにより、市民への災害情報の一斉伝達手段が多様化されるとともに、災害対策本部と避難所との災害情報の円滑な収集・伝達が可能となった。			
II 定量的指標の達成状況	評価する指標	当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-4-1 防災無線デジタル機器子局の整備	178基	214基	214基
	目標値と実績値 に差が出た要因			
III 特記事項（今後の方針）				
平成28年度に最終目標値に達したため完了。				

上記指標に関連する事業

事業名	C-4-1-1-14	防災無線デジタル機器整備・子局増設事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：市内住宅街	事業実施期間：平成24年・平成27年・平成28年	事業費：	211 百万円

社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川 口 市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	公有地事業を図った結果、恒久的な緑地が保全され公営住宅を含む市内居住者に良質で、安心・安全な居住環境に資することができた。					
II 定量的指標の達成状況	評価する指標			当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-42 保全緑地の公有地化面積			38,701㎡	40,139㎡	40,139㎡
	目標値と実績値 に差が出た要因					
III 特記事項（今後の方針）						
平成26年度の川口市社会資本総合整備計画にて、目標を達成できたため当該事業完了。						

上記指標に関連する事業

事業名	C-4-1-1-16	保全緑地公有地化・整備事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容： 保全緑地公有地化・整備事業	事業実施期間： 平成26年	事業費：	54 百万円

社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	住居表示を実施することにより、欠番、飛番等がある地番を住所として使用する不便さが解消され、住所が合理的でわかりやすい表記となり近隣住宅を含む市内居住者の利便性が増した。			
II 定量的指標の達成状況	評価する指標	当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値
	3-47 市内の住居表示地区の割合	56.8%	58.4%	58.4%
	目標値と実績値 に差が出た要因			
III 特記事項（今後の方針）				
平成27年度をもって、当該事業は完了。				

上記指標に関連する事業

事業名	C-4-1-1-22 住居表示整備事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容： 約2,200世帯の住居表示	事業実施期間： 平成27年	事業費： 25百万円

社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	赤山歴史自然公園整備に伴う用地取得については、取得予定用地の約96%を確保した。 赤山歴史自然公園整備事業全体の進捗率は事業費ベースで約59%であり、平成30年4月の一部供用開始に向けて、着実に整備を進めている。			
II 定量的指標の達成状況	評価する指標	当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-48 赤山歴史自然公園整備事業の進捗に伴う計画目標値への貢献度（人口1人あたりの公園緑地面積）	3.43㎡	3.44㎡	3.44㎡
	目標値と実績値 に差が出た要因			
III 特記事項（今後の方針）				
赤山歴史自然公園は平成30年4月に一部供用開始、平成34年4月に全面供用開始を予定している。 平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。				

上記指標に関連する事業

事業名	A-3-3-4 赤山歴史自然公園整備事業			
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：都市公園整備 A=8.9ha	事業実施期間：平成28年	事業費：	450 百万円

社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	幹線道路や生活道路の整備、また、駅へのアクセス道路の整備により、緊急車両の通行における安全性・利便性が改善され、地区人口も順調に推移している。 整備済み道路整備延長（H28当初）約17,000m → 整備済み道路整備延長（H28末）約17,400m ※対象2地区の合計 地区内人口（H28当初）約11,600人 → 地区内人口（H28末）約12,000人 ※対象2地区の合計					
II 定量的指標の達成状況	評価する指標			当初現況値 (H28年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-49 石神西立野・安行藤八地区内における救急車等の緊急車両の到達時間を短縮させる地区内道路の整備率			35.7%	37.6%	36.6%
	目標値と実績値 に差が出た要因	区画整理事業の進捗により一定水準の住環境と交通網が整備されているが、街路整備の用地確保が難航したため目標値を達成することができなかった。				
III 特記事項（今後の方針）						
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。						

上記指標に関連する事業

事業名	A-3-7-5 石神西立野地区土地区画整理事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：都市再生区画 A=99.1ha	事業実施期間：平成28年	事業費：81百万円
事業名	A-3-7-6 安行藤八地区土地区画整理事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：都市再生区画 A=68.1ha	事業実施期間：平成28年	事業費：89百万円

社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	区画整理事業・公園整備事業の推進に伴い、公共施設整備面積の増加により、良質な住環境の整備が進んでいる。					
II 定量的指標の達成状況	評価する指標			当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-50 石神西立野地区公共施設整備率			30.7%	32.7%	31.9%
	目標値と実績値 に差が出た要因	街路整備の用地確保が難航したため目標値を達成することができなかった。なお、公園整備については、計画どおり予定整備を達成できた。				
III 特記事項（今後の方針）						
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。また、平成29年度以降公園整備事業は、川口市社会資本総合整備計画の対象外のため、整備費用については別途検討する。						

上記指標に関連する事業

事業名	A-3-7-5	石神西立野地区土地区画整理事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：都市再生区画 A=99.1ha	事業実施期間：平成28年	事業費：	81 百万円
事業名	C-3-7-5-1	仮称石神西立野第7公園整備事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：1,952.92㎡	事業実施期間：平成28年	事業費：	54 百万円

社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	区画整理事業の進捗により、街路整備に伴う緊急車両アクセスの向上による到着時間の短縮が図られている。 整備済み道路整備延長（H28当初）6,011m → 整備済み道路整備延長（H28末）6,161m 地区内人口（H28当初）1,976人 → 地区内人口（H28末）2,044人			
II 定量的指標の達成状況	評価する指標	当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)	実績値 (H28年度末)
	3-5-1 戸塚東部特定土地区画整理事業地区内における救急車等の緊急車両の到達時間を短縮させる地区内道路の整備率	67.3%	70.0%	69.0%
	目標値と実績値 に差が出た要因	区画整理事業の進捗により一定水準の住環境と交通網が整備されているが、街路整備の用地確保が難航したため目標値を達成することができなかった。		
III 特記事項（今後の方針）				
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。				

上記指標に関連する事業				
事業名	A-3-7-7	戸塚東部特定土地区画整理事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：都市再生区画 A=33.7ha	事業実施期間：平成28年	事業費：	234 百万円

社会資本整備総合交付金 評価チェックシート

川口市

計画の名称	川口市社会資本総合整備計画	計画の期間	平成24年度～平成28年度
事業主体名	埼玉県川口市	評価実施時期	平成29年3月末

2. 事業効果の発現状況目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	区画整理事業・公園整備事業の推進に伴い、公共施設整備面積の増加により、良質な住環境の整備が進んでいる。				
	II 定量的指標の達成状況			当初現況値 (H24年度当初)	最終目標値 (H28年度末)
3-52 戸塚東部特定土地区画整理事業地区公共施設整備率			53.6%	56.4%	55.7%
目標値と実績値 に差が出た要因			街路整備の用地確保が難航したため、目標値を達成することができなかった。なお、公園整備については、計画どおり予定整備を達成できた。		
III 特記事項（今後の方針）					
平成29年度以降も、川口市社会資本総合整備計画にて、効率化、予算の重点配分等を検討しながら当該事業を継続していく。また、平成29年度以降公園整備事業は、川口市社会資本総合整備計画の対象外のため、整備費用については別途検討する。					

上記指標に関連する事業

事業名	A-3-7-7	戸塚東部特定土地区画整理事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：都市再生区画 A=33.7ha	事業実施期間：平成28年	事業費：	234 百万円
事業名	C-3-7-7-1	仮称戸塚東部第2公園整備事業		
事業内容・事業期間・事業費	事業内容：1,131㎡	事業実施期間：平成28年	事業費：	30 百万円